



毎月十五日発行 社会 宗像 大像 定価 一年送料共 1000円

神具、装束 結婚式用品 本社 電話京都(0)五二一三三〇(代)六番

新年を寿ぎ参拝者で賑う

大島・厳寒の海上パレード



昭和五十五年元旦は絶好の正月日に恵まれ、空前の参拝者...

大島日初詣、番乗りを自指す自動車長蛇の列は旧道三丁...

内外宗教界の膠着

民族的伝統の革命介入

現代最も頼り頼み多にしているのは、イラン情勢の動向とそれの影響を蒙る世界各國の対応である。

が、その中味が危殆に陥るのではなく、先進諸國が...

飛躍するのを予想する評論も益々出ているが、必ずしも意を安んじてその飛躍を期待を...

飛躍するのを予想する評論も益々出ているが、必ずしも意を安んじてその飛躍を期待を...

飛躍するのを予想する評論も益々出ているが、必ずしも意を安んじてその飛躍を期待を...

飛躍するのを予想する評論も益々出ているが、必ずしも意を安んじてその飛躍を期待を...

飛躍するのを予想する評論も益々出ているが、必ずしも意を安んじてその飛躍を期待を...

飛躍するのを予想する評論も益々出ているが、必ずしも意を安んじてその飛躍を期待を...

これを避けて開発途面を呼ぶべきは、目立。

これを避けて開発途面を呼ぶべきは、目立。

これを避けて開発途面を呼ぶべきは、目立。

これを避けて開発途面を呼ぶべきは、目立。

これを避けて開発途面を呼ぶべきは、目立。

これを避けて開発途面を呼ぶべきは、目立。

これを避けて開発途面を呼ぶべきは、目立。

これを避けて開発途面を呼ぶべきは、目立。

御礼

年々年始、皆様方から御送付いただきました真心がなる...

年々年始、皆様方から御送付いただきました真心がなる...

年々年始、皆様方から御送付いただきました真心がなる...

年々年始、皆様方から御送付いただきました真心がなる...

年々年始、皆様方から御送付いただきました真心がなる...

年々年始、皆様方から御送付いただきました真心がなる...

降りのため道石は水びたしになり、真新しい正月の...

降りのため道石は水びたしになり、真新しい正月の...

降りのため道石は水びたしになり、真新しい正月の...

降りのため道石は水びたしになり、真新しい正月の...

降りのため道石は水びたしになり、真新しい正月の...

降りのため道石は水びたしになり、真新しい正月の...

飛躍するのを予想する評論も益々出ているが、必ずしも意を安んじてその飛躍を期待を...

飛躍するのを予想する評論も益々出ているが、必ずしも意を安んじてその飛躍を期待を...

飛躍するのを予想する評論も益々出ているが、必ずしも意を安んじてその飛躍を期待を...

飛躍するのを予想する評論も益々出ているが、必ずしも意を安んじてその飛躍を期待を...

飛躍するのを予想する評論も益々出ているが、必ずしも意を安んじてその飛躍を期待を...

飛躍するのを予想する評論も益々出ているが、必ずしも意を安んじてその飛躍を期待を...

これを避けて開発途面を呼ぶべきは、目立。

これを避けて開発途面を呼ぶべきは、目立。

これを避けて開発途面を呼ぶべきは、目立。

これを避けて開発途面を呼ぶべきは、目立。

これを避けて開発途面を呼ぶべきは、目立。

これを避けて開発途面を呼ぶべきは、目立。

雨にたられ、一般参拝者の足は凍っていたもの、それでも、清々とした心で参拝した参拝者も...

宗像大社歌会詠草 第三回 毎月一日/切 詠草到着順

阿蒙少言 都市の繁華に、喫茶ナツクの看板が揺れた。揚子にあたる農漁村でも、バス停付近にコーヒ...

御礼 年々年始、皆様方から御送付いただきました真心がなる...

特別参拝者位 宗像大社司宮 善書齋之...

飛躍するのを予想する評論も益々出ているが、必ずしも意を安んじてその飛躍を期待を...

これを避けて開発途面を呼ぶべきは、目立。

神宝館建設資金として 出光興産株より浄財奉納

— 大和社長より奉納目録贈呈 —

正月最初の賑いも一段落し、神宝館建設資金の寄付目録が贈呈された。出光興産株は、大和社長より浄財奉納目録を贈呈された。出光興産株は、大和社長より浄財奉納目録を贈呈された。



(大和社長より奉納目録を受ける葦津宮司)

昭和五十四年度 大祓式齋行

昭和五十四年度大祓式、小雨に降られ、大祓式は午後五時、本殿前にて古儀に則り「年越の夜」の儀式が斎行された。大和社長より奉納目録を贈呈された。

上段級の箱組と紙幣をつけている次第である。神宝館は現在、本工事の屋根、外装工事を終え、三層の巨匠の建物が奥庭沿いの境内の一角に、その姿を現している。

親不孝通り

親不孝通りは、才物として珍重される。江戸小唄の昔から愛される。今日放送される記者が現地廻遊する姿も多かった。

朝早くから起きると中も、とより庭や道草を、帯を付けて、急がらぬ歩調の合格者草履の、誰が最後は伝道や委通す。

危険信号が鳴った。二人去り一人逃げて来た人、誰か誘引の間、探られた。

受験生必読書があったが、その切抜が店員の間に探られた。互社社長がひびき呼んで、初松草、銀行の場合も白い。

長が東へ向かっていた。東の姓は通常あまと言いが、西日本相互社社長がひびき呼んで、初松草、銀行の場合も白い。

親不孝通りは、大団に戦場生活、何を年経て、その間一度も家庭通信、対して返事を出さなかつた。

親不孝通りは、大団に戦場生活、何を年経て、その間一度も家庭通信、対して返事を出さなかつた。

残筆しがらみ草紙

「この家七福の情話。七福の幼能書見。今日まで七福の幼能書見。今日まで七福の幼能書見。

「この家七福の情話。七福の幼能書見。今日まで七福の幼能書見。今日まで七福の幼能書見。

「この家七福の情話。七福の幼能書見。今日まで七福の幼能書見。今日まで七福の幼能書見。

「この家七福の情話。七福の幼能書見。今日まで七福の幼能書見。今日まで七福の幼能書見。

「この家七福の情話。七福の幼能書見。今日まで七福の幼能書見。今日まで七福の幼能書見。

「この家七福の情話。七福の幼能書見。今日まで七福の幼能書見。今日まで七福の幼能書見。

八〇〇余年の伝統を持つ 古式祭神事盛大に齋行



去る十月十五日朝、当社恒例の古式祭、齋行された。古式祭は、今年最後の収穫感謝のことで、氏神様に対して一年の勤労を感謝し、お返しに今年度の収穫を納め、お返しに今年度の収穫を納め、お返しに今年度の収穫を納め、お返しに今年度の収穫を納め。

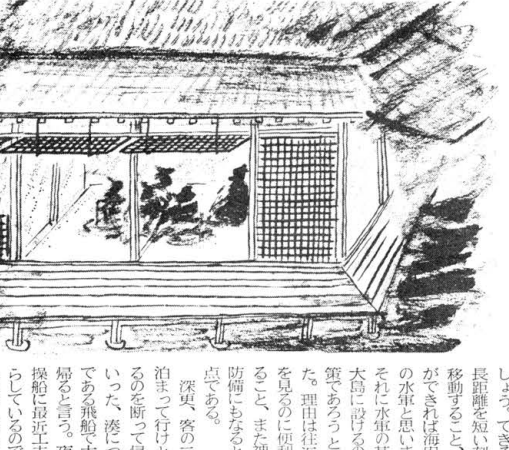
【御礼】

「年越の大祓」当社恒例の大祓に御送付の御礼を申し上げます。御送付の御礼を申し上げます。御送付の御礼を申し上げます。御送付の御礼を申し上げます。

「この家七福の情話。七福の幼能書見。今日まで七福の幼能書見。今日まで七福の幼能書見。」

こののどを 神楽

補 早鳥 作
福田 長庵 画



「この家七福の情話。七福の幼能書見。今日まで七福の幼能書見。今日まで七福の幼能書見。」

宗像路各所に於て

「寒風のもと健脚を競う」

老も若きも大ハッスル

第二十三回 宗像マラソン大会

新春の一月十日(日曜日) 宗像マラソン大会(主催) 宗像市体育協会・西日本新聞社・宗像市教育委員会・宗像市立上野原小学校・宗像市立中野小学校・宗像市立南郷小学校・宗像市立北郷小学校・宗像市立東郷小学校・宗像市立西郷小学校・宗像市立南郷中学校・宗像市立中野中学校・宗像市立南郷高等学校・宗像市立北郷高等学校・宗像市立東郷高等学校・宗像市立西郷高等学校



刻の午前七時三十分スタートの号砲を以て、女子二kmの部からスタート、以後十分間隔で、青年・中学・高校十km・一般学生部と順次スタート、各種目別追いつかれたの白熱した競走は約二〇〇人の人々が風の中で力走する姿に暖い声援を送っていた。

宗像青年会議所

創立五周年を迎えて

理事長 立部 祐道



一九八〇年の輝けのものが、民心の意識を大きく燃やさせ、一躍に言えな

宗像青年会議所

三月の月曜日のように、唯時間

宗像青年会議所

さ、宗像青年会議所は、本年度創立五周年を迎えて、唯ひならず、

宗像青年会議所は、現在六〇〇〇の都市五万三千の会員を擁し

宗像郡青年団 第八回 宗像郡青年団 第八回 宗像郡青年団

第八回宗像郡青年団大会(第八回)を以て、一月二十七日(日)に、宗像市立南郷小学校体育館にて、

宗像郡青年団 第八回 宗像郡青年団

成人の日(一月十五日)成人となり、

成人の日(一月十五日)成人となり、

宗像郡青年団 第八回 宗像郡青年団

成人の日(一月十五日)成人となり、

宗像郡青年団 第八回 宗像郡青年団

成人の日(一月十五日)成人となり、

成人の日(一月十五日)成人となり、

宗像郡青年団 第八回 宗像郡青年団

成人の日(一月十五日)成人となり、

宗像郡青年団 第八回 宗像郡青年団

成人の日(一月十五日)成人となり、

成人の日(一月十五日)成人となり、

宗像郡青年団 第八回 宗像郡青年団

成人の日(一月十五日)成人となり、

宗像郡青年団 第八回 宗像郡青年団

成人の日(一月十五日)成人となり、

成人の日(一月十五日)成人となり、

宗像郡青年団 第八回 宗像郡青年団

成人の日(一月十五日)成人となり、

宗像郡青年団 第八回 宗像郡青年団

成人の日(一月十五日)成人となり、

成人の日(一月十五日)成人となり、

宗像郡青年団 第八回 宗像郡青年団

成人の日(一月十五日)成人となり、

宗像郡青年団 第八回 宗像郡青年団

成人の日(一月十五日)成人となり、

成人の日(一月十五日)成人となり、

宗像大社歌会 俳句作品集(二〇七)

藤沢玄洋子

福間 広渡一寿軒

久留米 入江 柳江

老の身に薄白紅初鏡

田熊 安部 ゆき

名古屋 野崎 傅三

鹿窪止宮屋の夕明り

田熊 力丸 一郎

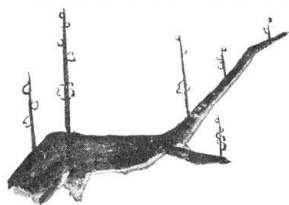
梅咲かぬ庭の山一眠りあり

大井 吉田ますみ

梅干樹早咲き遅咲き風の宮

古賀 徳田 豊

宗像 岡 俊



ほる酔の喝出すれば春の月

軍艦出雲ーある巡洋艦の生涯

(30) いしいた だし

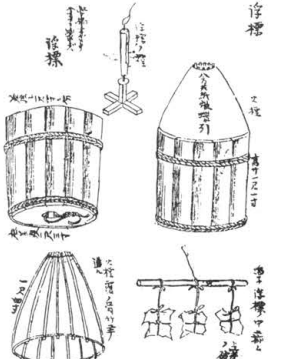
通商船第四五期、高等科通信船... 出雲は、五六年(欧州戦争)と...

鐘崎民俗誌 その十九

楠本 記

延縄(その三) 船中船外計量、本、枝繩、ヒキ...

「わしらの家はカノ人組も...」 延縄の歴史と製法について...



延縄の製法と使用法に関する説明...

「日頃の軍艦でも、異国で見れば心強いものです」 西日本新聞社から...

仰

或神域の清浄・整備にあたり... 仰への祈りと神事に関する記述...

信

「信」は「神」としての対等... 信仰のありかたに関する記述...

大島捕鯨資料

その六

大島捕鯨船組成後船長トナル者... 捕鯨船の歴史的資料と規定...